

JILPT 資料シリーズ

No.31 2007年10月

# ハローワークにおける職業分類の 運用に関する調査報告

# ハローワークにおける職業分類の 運用に関する調査報告

## ま え が き

職業分類は、ある一時点における社会の断面を職業の視点から描いた点描画である。職業は産業や制度に強く規定され、その変化にともなって様相が変貌する。現在、ハローワークにおいて職業紹介業務に用いられている職業分類は1999年に改訂されたものである。それから既に8年の年月が経過している。この間の産業や制度の変化を受けて、現実の職業の中には職業分類の項目に対応させることが難しいものも増えている。本報告はこの両者の乖離の程度を把握するために実施した調査の結果をとりまとめたものである。

本報告はふたつの役割を負っている。第1は職業分類の改訂にあたって基礎資料を提供することである。厚生労働省では次期情報システムの導入にあわせて職業分類の改訂を予定している。本報告は職業分類に設定されている項目と現実の仕事とのずれを明らかにしており、分類項目を改訂する際の基礎資料として利用することができる。第2は職業分類に対する共通認識の形成に必要な要件を明らかにすることである。職業分類はハローワークの職員が実務に使用するものであるが、分類の考え方に関する解説書が配布されているわけではなく、また必ずしもすべての職員が職業分類について研修を受けているわけでもない。大半の職員は実務経験を通して職業分類の考え方を学んでいる。職業紹介業務を的確に遂行するためには職業分類について共通の認識を持つことが重要である。本報告には職員が共有すべき認識の具体的内容が明らかにされている。

本報告が職業安定行政の推進に多少なりとも貢献することができれば幸いである。また、行政職員のみならず職業分類に関心を抱いている方々の参考になることがあれば望外の喜びである。

2007年9月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
理事長 小 野 旭

執筆担当者

にし ざわ ひろし  
西 澤 弘

労働政策研究・研修機構主任研究員

## 目 次

### 第1章 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の対象	1
3 調査の方法	2
4 調査項目	2
5 本調査の位置づけ	3

### 第2章 現実の職業と職業分類表の項目

1 労働省編職業分類に対する一般的認識	4
2 実務利用の視点からみた問題点	5
3 分類項目別検討課題	12
A 専門的・技術的職業	12
B 管理的職業	29
C 事務的職業	31
D 販売の職業	43
E サービスの職業	51
F 保安の職業	63
G 農林漁業の職業	64
H 運輸・通信の職業	67
I 生産工程・労務の職業	70

### 第3章 職業分類の運用

1 業務上必要な項目	91
2 位置づけの難しい仕事	91
3 情報共有	96
4 業務上有用な参考資料	97
5 求職者と職業分類	98

### 付属資料

資料1 公共職業安定所求人業務担当者用調査票	109
資料2 公共職業安定所求職者業務担当者用調査票	120
資料3 労働大学校研修生用調査票	124
資料4 ヒアリング調査項目	136

